

令和 8 年（2026 年） 夏（6～8 月）の天候経過

令和 8 年 9 月 1 日
新潟地方気象台

1. 北陸地方の今夏（6～8 月）の特徴

【日本の東や西日本付近に高気圧が張り出し、かなりの高温、少雨、多照の夏。夏の終わり頃は記録的な大雨】

今夏は、日本の東や西日本中心に張り出す高気圧に覆われやすく、7 月中旬を中心に高気圧の勢力が強まり、かなりの高温。夏の後半は、前線の影響を受けやすい時期があり、特に夏の終わり頃は前線の活動が活発化して記録的な大雨となった所があった。

北陸地方の梅雨入りは 6 月 20 日頃、梅雨明けは 8 月 3 日頃で、ともに遅い梅雨入り・梅雨明けとなった。7 月前半を中心に梅雨前線の影響を受けにくく、梅雨の時期としては降水量が少なかった。

2. 3 か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	6～8 月	6 月	7 月	8 月
平均気温平年差	+ 1.3℃	+ 0.9℃	+ 1.8℃	+ 1.1℃
階級	かなり高い	高い	かなり高い	高い
降水量平年比	88%	97 %	70 %	104 %
階級	少ない	平年並	少ない	平年並
日照時間平年比	115 %	122 %	120 %	105 %
階級	多い	多い	多い	平年並

（注）北陸地方平均：北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9 地点）ごとの平年差（比）を平均したもの

3. 月別の天候経過

（6 月）【中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、高温、多照】

上旬は台風第 6 号や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く降水量はかなり多かったが、中旬は移動性高気圧に覆われて日照時間はかなり多かった。また、上旬の初めは高気圧の縁を回る暖かい空気が流れ込み、中旬は暖かい空気に覆われやすく、上旬と中旬の平均気温はかなり高かった。このため、月としては高温、多照となった。北陸地方では、前線や低気圧の影響を受けやすくなった 20 日頃に梅雨入りした。

（7 月）【中旬を中心に晴れて暖かい空気に覆われやすく、かなりの高温、少雨、多照】

上旬は日本の東から、中旬は西日本付近に高気圧が張り出し、晴れた日が多かった。特に中旬は西日本付近でチベット高気圧が強まり、北陸地方では背の高い高気圧に覆われたため、中旬の平均気温は 1946 年の統計開始以降、2025 年と並び最も高く（平年差+3.6℃）、中旬の降水量はかなり少なかった。下旬は梅雨前線や低気圧の影響で新潟県を中心に大雨となった所があったが、月としてはかなりの高温、少雨、多照となった。

（8 月）【暖かい空気に覆われやすく、高温。月の終わり頃は記録的な大雨となった所があった】

梅雨明けの 3 日頃からは、中旬を中心に日本の東から張り出す高気圧に覆われやすく、下旬の前半にかけて晴れた日が多かった。下旬の後半は前線の活動が活発化したため大雨となった日が多く、27 日は線状降水帯が発生した石川県・富山県で、29 日から 30 日にかけては福井県で記録的な大雨となった所があった。

暖かい空気に覆われやすく、月の平均気温は高かった。中旬は湿った空気の影響を受けにくく降水量は少なかったが、下旬の降水量は多く、月の降水量は平年並となった。

4. 参考資料

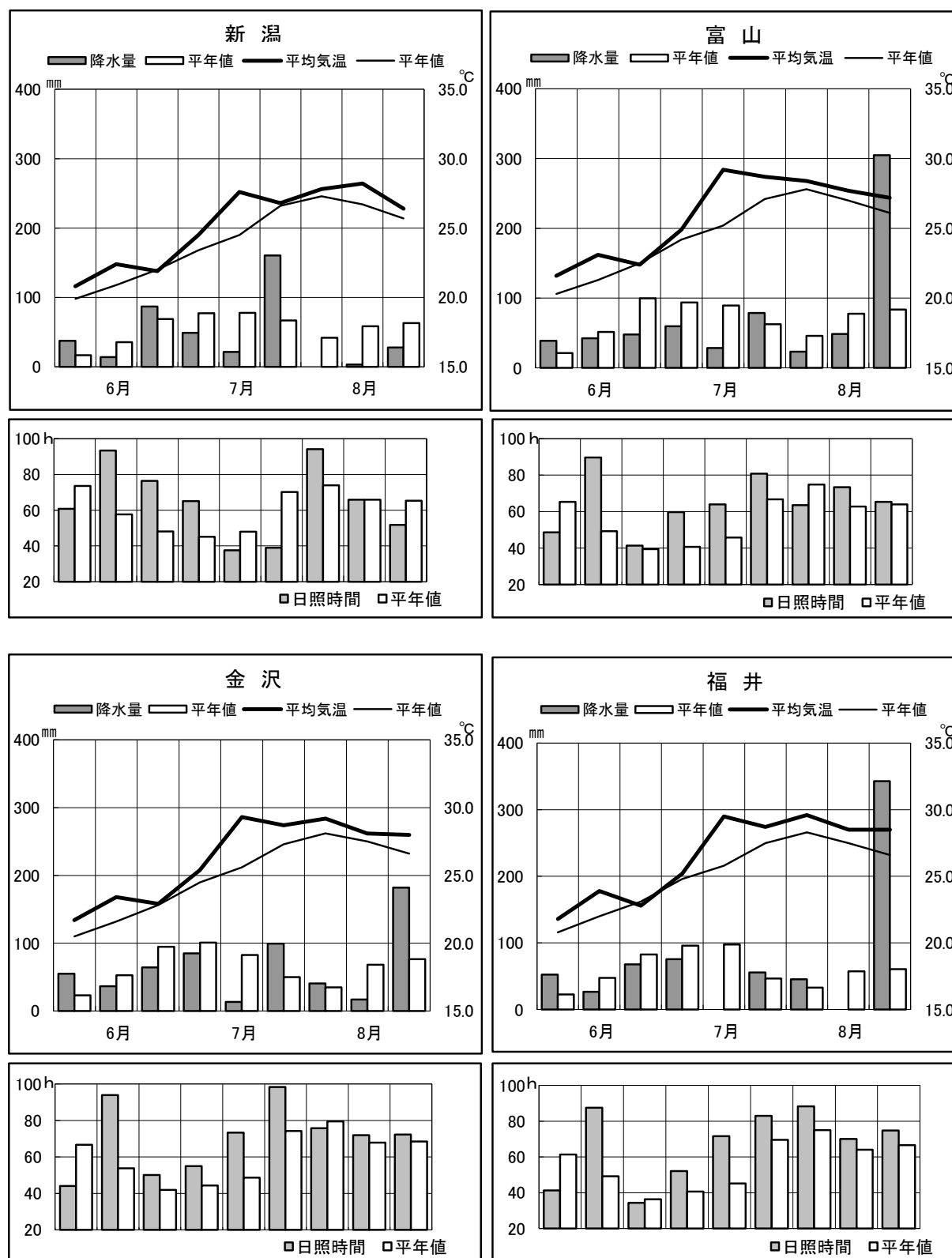


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表 1 北陸地方における 6～8 月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	6月		7月		8月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差 ℃ (階級)	実況値 ℃	平年差 ℃ (階級)	実況値 ℃	平年差 ℃ (階級)	実況値 ℃	平年差 ℃ (階級)
新 潟	21.7	+ 0.8 (+)	26.3	+ 1.4 (+)	27.4	+ 0.9 (+)	25.1	+ 1.0 (+*)
高 田	21.8	+ 0.9 (+)	26.6	+ 1.6 (+*)	27.0	+ 0.6 (+)	25.1	+ 1.0 (+)
相 川	21.1	+ 1.3 (+*)	25.8	+ 1.8 (+*)	27.0	+ 1.0 (+)	24.6	+ 1.4 (+*)
富 山	22.4	+ 1.0 (+)	27.6	+ 2.1 (+*)	27.7	+ 0.8 (O)	25.9	+ 1.3 (+*)
伏 木	21.8	+ 1.0 (+)	27.2	+ 2.1 (+*)	28.1)	+ 1.4 (+)	25.7	+ 1.5 (+*)
金 沢	22.7	+ 1.1 (+)	27.8	+ 2.0 (+*)	28.4	+ 1.1 (+)	26.3	+ 1.4 (+*)
輪 島	21.1	+ 1.1 (+*)	26.5	+ 2.1 (+*)	27.2	+ 1.3 (+)	24.9	+ 1.4 (+*)
福 井	22.8	+ 0.8 (+)	27.8	+ 1.7 (+*)	28.8	+ 1.4 (+)	26.5	+ 1.3 (+*)
敦 賀	22.6	+ 0.5 (+)	27.9	+ 1.6 (+*)	29.3	+ 1.6 (+*)	26.6	+ 1.2 (+*)
北陸平均		+ 0.9 (+)		+ 1.8 (+*)		+ 1.1 (+)		+ 1.3 (+*)

降水量	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)
新 潟	138.5	114 (O)	231.0	104 (O)	31.5	19 (-*)	401.0	79 (-)
高 田	157.0	115 (O)	131.5	64 (-)	218.5	118 (+)	507.0	96 (O)
相 川	118.5	97 (O)	175.5	85 (O)	22.0	16 (-*)	316.0	69 (-)
富 山	129.5	75 (O)	166.5	68 (-)	376.5	182 (+)	672.5	108 (+)
伏 木	119.5	75 (-)	179.0	80 (O)	207.0)	107 (O)	505.5	88 (-)
金 沢	156.0	92 (O)	198.0	85 (O)	239.5	134 (+)	593.5	102 (O)
輪 島	145.5	93 (O)	87.0	44 (-)	139.0	79 (O)	371.5	70 (-)
福 井	147.0	96 (O)	131.0	55 (-)	388.5	258 (+*)	666.5	123 (+)
敦 賀	166.0	115 (+)	84.0	41 (-)	32.0	22 (-*)	282.0	57 (-)
北陸平均		97 (O)		70 (-)		104 (O)		88 (-)

日照時間	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)
新 潟	230.5	129 (+*)	141.7	87 (O)	211.7	103 (O)	583.9	107 (O)
高 田	197.0	128 (+*)	170.2	115 (O)	195.8	103 (O)	563.0	115 (+)
相 川	239.3	134 (+*)	144.0	89 (O)	218.9	105 (O)	602.2	110 (+)
富 山	179.6	117 (+)	204.5	133 (+)	202.4	100 (O)	586.5	115 (+)
伏 木	192.8	121 (+)	219.8	137 (+)	197.4)	96 (O)	610.0	116 (+)
金 沢	188.1	116 (+)	226.7	136 (+*)	220.0	102 (O)	634.8	116 (+)
輪 島	224.3	139 (+*)	181.1	114 (O)	208.3	103 (O)	613.7	117 (+)
福 井	163.3	111 (O)	206.8	133 (+)	233.2	113 (+)	603.3	119 (+)
敦 賀	140.1	100 (O)	208.9	136 (+)	238.1	118 (+)	587.1	119 (+)
北陸平均		122 (+)		120 (+)		105 (O)		115 (+)

注1) 平年値は1991～2020年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない) , (O) : 平年並 , (+) : 高い (多い)

(-*) : かなり低い (かなり少ない) , (+*) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

必要に応じ、気象台等に統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を確認するなど品質をご確認ください。

表2 北陸地方における6～8月の階級別日数

	6月			7月			8月		
	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温
官署	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上
新潟	2(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	16(10.8)	0(0.9)	10(2.8)	25(18.5)	0(2.3)	10(7.3)
高田	1(2.5)	0(0.1)	0(0.0)	20(14.6)	0(1.3)	6(1.1)	26(20.9)	2(3.2)	1(3.2)
相川	0(0.2)	0(0.0)	0(0.0)	9(6.0)	0(0.3)	8(2.0)	19(12.4)	0(0.7)	12(6.1)
富山	2(3.1)	0(0.1)	0(0.0)	24(15.5)	7(2.6)	13(2.2)	25(20.6)	2(4.7)	9(6.6)
伏木	0(2.1)	0(0.1)	0(0.0)	22(13.3)	7(2.0)	14(2.7)	23(19.1)	4(2.9)	13(8.1)
金沢	1(2.4)	0(0.0)	0(0.1)	23(15.0)	1(1.0)	17(6.3)	29(21.5)	3(2.1)	19(12.2)
輪島	0(0.8)	0(0.0)	0(0.0)	19(10.2)	1(0.5)	10(1.0)	25(16.8)	1(1.2)	7(2.6)
福井	3(4.6)	0(0.0)	0(0.1)	24(17.2)	8(2.8)	14(4.5)	28(24.0)	13(5.5)	17(8.6)
敦賀	1(3.4)	0(0.0)	0(0.2)	23(15.7)	3(1.9)	17(8.0)	29(23.5)	10(3.7)	25(14.3)

注1) 日最高気温：40℃以上の日は酷暑日、35℃以上の日は猛暑日、30℃以上の日は真夏日

※今期間の酷暑日はなかった。

注2) 「熱帯夜」とは夜間の最低気温が25℃以上の日を指すため、ここに示した日数とは異なる場合がある。

一般的な意味での熱帯夜日数の統計はない。

注3) カッコ（ ）内は平年値

注4) 値の横に「 ） 」や「 ｝ 」がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

「 ） 」付きの値は正常の値とみなしますが、「 ｝ 」付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

必要に応じ、気象台等に統計日数（統計に用いた品質が十分な日数）を確認するなど品質をご確認ください。

表3 北陸地方における6～8月の日最高気温

官署	最高気温 ℃	起日	累年極値 更新	これまでの1位（通年） ℃	統計開始年月
新潟	34.8	7月15日	更新なし	39.9(2018/8/23)	1881/7
高田	35.3	8月13日 8月25日	更新なし	40.3(2019/8/14)	1922/1
相川	33.9	7月15日	更新なし	38.5(2023/8/9)	1911/4
富山	36.8	8月25日	更新なし	39.8(2025/8/4)	1939/1
伏木	36.7	7月20日	更新なし	39.7(1994/8/14)	1887/5
金沢	36.0	7月18日	更新なし	38.5(2022/9/6)	1882/1
輪島	35.1	7月20日	更新なし	38.6(2020/9/3)	1929/5
福井	37.3	8月24日	更新なし	38.6(1942/7/19)	1897/1
敦賀	37.2	8月25日	更新なし	37.8(2025/8/4)	1897/10

表4 北陸地方における夏（6～8月）の累年極値・順位（3位以内）更新

月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
7	3	輪島	26.5	+2.1	28.1（2025）	1929	24.4

月降水量多い方からの順位更新

月	順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm（西暦年）	開始年	平年値 mm
8	2	福井	388.5	258	465.5（2022）	1897	150.7

5. 天候情報発表状況

8月24日 長期間の高温と少雨に関する北陸地方気象情報 第1号

6. 北陸地方の梅雨入り・明けの時期（確定値）及び梅雨の時期（6～7月）の降水量

北陸地方の梅雨入りは6月20日頃、梅雨明けは8月3日頃で、ともに遅い梅雨入り・梅雨明けとなった。
梅雨の時期の降水量平年比は81%で、階級区分としては少なかった。

1946年からの降水量統計開始以降で、6～7月の降水量が最も少ない年は1994年（平年比36%）で、最も多い年は1964年（平年比176%）である。

表5 梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り		梅雨明け		梅雨の時期の降水量平年比 （注2）
	今年（注1）	（平年）	今年（注1）	（平年）	
北陸	6月20日頃（+）	（6月11日頃）	8月3日頃（+）	（7月23日頃）	81%（-）

（注1）梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日頃」と表現した。記号の意味は、（+）*：かなり遅い、（+）：遅い、（0）：平年並、（-）：早い、（-）*：かなり早い、の階級区分を表す。

（注2）北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）の観測値を用い、梅雨の時期（6～7月）の平均降水量を平年比で示した。なお、北陸地方の梅雨の時期の降水量は、過去の統計と比較可能にするために6～7月の2か月間としている。

記号の意味は、（+）*：かなり多い、（+）：多い、（0）：平年並、（-）：少ない、（-）*：かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	3 3 %		3 3 %	3 3 %	
	1 0 %			1 0 %	
梅雨入り・明け	遅 い		平年並	早 い	
	かなり遅い			かなり早い	
降水量	少ない		平年並	多 い	
	かなり少ない			かなり多い	

表6 各地の梅雨の時期（6～7月）の降水量

地点	新潟	高田	相川	富山	伏木	金沢	輪島	福井	敦賀
降水量 mm	369.5	288.5	294.0	296.0	298.5	354.0	232.5	278.0	250.0
平年比 %	108	84	89	71	78	88	65	71	72

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署及び特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。
なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。